



中谷 成智氏
(東和工業社長)

「たかがナット、されどナット。鉄鋼業界のなかでナットはニッチな分野だが、なくてはならない存在だ。当社はナットの事業を通して、社員と共に成長して世の中の役に立つ会社を目指す」と話すのは、建築用ファスナーメーカー、東和工業の中谷成智社長。

たかがナット、されどナット

建築物を縁の下で支えるナットやボルトは品質が命。同社はこの点にこだわりを持ち、中山製鋼所やJFEスチールなどからの母材で、高品質な冷間ホームリーナットを中心に製造・販売しており、国内ナットのシェアは国内トップクラス。国内ねじ市場の大半は低価格を武器とする中国などからの輸入品に押されているが、中谷社長は「当社はメイドインジャパンの高品質製品の製造にこだわっている。品質と利便性で安価な輸入品に対抗する」考えだ。

同社は人材育成なども積極的に取り組む。社員のスキルアップを図るための勉強会や、モチベーションの向上およびキャリアアップのための個人面談を定期的の実施している。また、品質や生産効率の向上のため、ペーパーレス化システムの導入や、ISO取得の一貫として始めた整頓などの3Sも徹底している。さらに、認知度向上も兼ねて、ボルトナット形状のマグネットや、クリアファイルを作製するなど、多方面から広報活動を行っている。

同社は今後も、顧客満足度がある、ユーザーのニーズにの向上と安心安全な建築物の確かつ迅速に対応できる生産および即納体制で他社とのだ。